

会議概要附属機関等の名称 安曇野市上下水道事業経営審議会

1	会議名	令和4年度 第3回 安曇野市上下水道事業経営審議会
2	日時	令和4年9月6日(火) 午後2時から午後3時50分まで
3	会場	本庁舎 会議室301
4	出席者	保尊委員、大江委員、猿田委員、赤沼委員、二木委員、 中村委員、臼井委員、鶴見委員
5	市側出席者	堀内上下水道部長、丸山経営管理課長、中田上水道課長、山越下水道課長、 中田下水道課長補佐、二木下水道担当係長、豊田管理係長、重野維持係長、 曾山工務係長、中嶋庶務担当係長、青嶋庶務担当係長
6	公開・非公開の別	公開
7	傍聴人	0人 記者 0人
8	会議概要作成年月日	令和4年9月26日

協議事項等

○会議の概要

- 1 開会
- 2 会長挨拶
- 3 議事
 - (1) 水道ビジョン改定(案)の説明及び質問・意見への回答
 - (2) 水道ビジョン概要版の作成及び水道ビジョン改定の日程について
 - (3) 水道ビジョン及び下水道事業経営戦略令和3年度事業評価報告について
- 4 その他
- 5 閉会

○議事の概要

- (1) 水道ビジョン改定(案)の説明及び質問・意見への回答
(資料に沿って事務局から説明)

<質疑>

委員：濁度計設置について再度確認したい。豊科地域は震度4程度の地震がくるとシリカが井戸の中に漂い汚れてしまうため、濁度計により配水池への配水が止まったら、濁った水を出してから配水してきた。幸いなことに、今までの地震は余震が何度も繰り返すことがなかったので、配水池の水が全てなくなる前に配水を復活することができたが、災害対応として本当にろ過装置の設置についてビジョンに記載しなくていいのか。

事務局：現在ろ過装置を設置しているのは、真々部配水池の三郷地域へ送水するためのもので、豊科地域へはろ過された水が送られるようになっていない。安心・安全面から考えると対策が必要。また、ろ過装置、ろ過方法についても、今のものでいいのか検討が必要である。

委員：そのお話を聞くと、今まで聞いて安心していただけと違ってくる。こども病院や安曇野赤十字病院への給水は、ろ過装置があるので問題ないという認識でいた。そうであれば、災害等の緊急対応として、その旨をビジョンに載せたらどうか。

事務局：ビジョンに載せる方向で検討したい。

委員：コロナや物価高騰による水道料金減免の話を目にするが、実施する場合は減収に対する一般会計からの補填はあるのか。

事務局：減免を実施することになれば、前回同様一般会計からほぼ同額を補填してもらわないと事業会計としては厳しい。また、市内全てが水道水ではなく、井戸水等を利用している家庭もあるため公平ではない。安曇野市は、井戸水を汲み上げて使用しているため、昨今の電気料金高騰が痛手ではあるが、水道料金を据え置いているため、市民の皆様にはそちらでご理解いただきたい。

委員：有収率について、冬場の工事で多くの水を使用しているようだが量を減らすことはできないのか。研究課題として、管の漏水対策だけではなくそういったことも考えたらどうか。

事務局：漏水以外の工事等で無駄にしている水があるのは事実ですが、他の工事に併せて行っていることが多いため、どうしても冬に工事が多くなり、凍結の心配から水の使用量が増えてしまっている。今後、水を無駄にしないよう考えていく。

委員：17ページでは配水池の耐震化について進めていく必要があると書かれているが、18ページ拠点配水池の耐震化の表は耐震化が全て済んでいるので、この関連性を教えてほしい。

非常用電源設備の設置について、投資計画に費用を計上しているのですが、設置台数等何か具体的な内容をビジョンに載せたほうがよいのではないかと。

事務局：17ページは全ての配水池に対して、18ページは拠点配水池に対しての耐震化を記載したものである。

非常用電源設備の設置については、どの場所にどの規模のものを設置すればよいのか、まだ具体的な計画は立てていない。投資計画へ計上した費用は、仮に上原と豊里配水池に見合ったものを設置した場合の概算である。

委員：広域連携について、県の進捗や市としての構想があれば伺いたい。

事務局：まだ、県から具体的なものは示されていない。市としても検討はこれからなので、会議等に出席するなかで進めていきたい。ただ、今ある資料を基に考えると安曇野市にとって有益なものではない。

委員：検討されているのは、松本地域の市や町、村の水道事業が1つになるというようなことなのか。

事務局：そうではなく、例えば松本市の一部の地域が安曇野市から給水を受けるといったようなこと。双方にとって、どのようなメリットがあるのか具体的なことは示されていない。

委員：大きな統合から小さな統合まで様々あると思うが、安曇野市としてはどのように考えているのか。今後の見通しも考えていかなければいけないのではないかと。

事務局：現時点では、安曇野市としての考えはない。今後、検討していかなければいけない。

- (2) 水道ビジョン概要版の作成及び水道ビジョン改定の日程について
(資料に沿って事務局から説明)

<質疑なし>

- (3) 水道ビジョン及び下水道事業経営戦略令和3年度事業評価報告について
(資料に沿って事務局から説明)

<質疑>

委員：人材育成、専門技術の継承で、平成29年と30年に研修会に参加した方は、

現在もいらっしゃいますか。

事務局：はい。現在も上下水道事業に携わっております。

委員：コロナで研修の機会が減っているようなので、そういった職員の方に残っていただかないと続いていかない。

以上